

## 社会福祉センター建設に着手



## 地下1階・地上4階建て —本年度から2年継続事業—

▲完成予想図

小田原駅前立上りと多くの人がゆきまします。男、女、背の高い人、低い人、年寄りの人、若者たちまでありますが、これらの人々のすべては、日本国憲法第二十五条によって、健康で文化的な最低限の生活を営む権利を持ち、そして国はこれらの人々のすべての生活面について、社会福祉、公衆衛生の向上及び増進に努めなければならないと定められています。しかし、日本は前著した戦後の経済を立て直すために、年間パーセント以上の世界経済にも例を見ない高度成長を続け、経済大国として世界各國から大きく評価されています。この過程において、自然の破壊、公害、交通事故の激増、物産など多くの富も生まれ、社会福祉の面でも立派なものをみせています。

### 福祉行政の拠点に

このような環境に對し、国も最近に至り、人間中心の施策を前面に出しており、いろいろの批判はあるものの、田中首相はその著書である日本列島改造論の中において、「日本のこの進路を一言にして要約すれば、平和」との言葉をいづまいます。外に對しては平和国家の主義を堅持し、内についてはこれまで主要第一主義、輸出一本サリの政策を改め、国民のための福祉を中心として、社会

資本主義の建設、先進的な社会福祉水準の向上などバラバラのものとされた民衆の成長をはかることである」と述べています。このような国の政策を市の立場から見た場合、経済政策を別として、福祉政策については、地域社会の表情に即して具体的に実行することが必要であり、したがって社会福祉政策はむしろ地方自治体に委ねられなければならないといえます。このような考えから本市の場合は、社会福祉を重点施策の一つとして進めてきましたが、老人をはじめ、乳児、母子、身体障害者等、一連の福祉対策を遂行に推進するためには、既設の施設で不足があるところから、市の総合計画事業の一つである社会福祉センターを建設することとし、一昨年度準備を進めてきました。関係者の協力によって工事ははじまり、本年一月の市議会臨時会において「市工費負担の締結」について承認を得ました。このほど工事の着工したのでありますが、この建設が完成することによって、中心地区にこの拠点とした福祉行政が進められることになる予定です。

かまどとあり、田中首相は「国も最近に至り、人間中心の施策を前面に出しており、いろいろの批判はあるものの、田中首相はその著書である日本列島改造論の中において、「日本のこの進路を一言にして要約すれば、平和」との言葉をいづまいます。外に對しては平和国家の主義を堅持し、内についてはこれまで主要第一主義、輸出一本サリの政策を改め、国民のための福祉を中心として、社会

福祉行政の拠点に、市役所の中心地区にこの拠点とした福祉行政が進められることになる予定です。福祉行政の拠点に、市役所の中心地区にこの拠点とした福祉行政が進められることになる予定です。福祉行政の拠点に、市役所の中心地区にこの拠点とした福祉行政が進められることになる予定です。

### 社会福祉センターの概要

構造 鉄筋コンクリート造地下1階付  
4階建1部P階付  
敷地面積 2,055.23㎡

|      |                 |           |
|------|-----------------|-----------|
| <地階> | 機械室 変電室 倉庫 管理部門 | 340.40㎡   |
| <1階> | 肢体不自由児機能回復訓練施設  | 763.21㎡   |
| <2階> | 乳児保育施設          | 690.30㎡   |
| <3階> | 老人福祉施設          | 716.20㎡   |
| <4階> | 母子福祉施設 会議室等     | 714.46㎡   |
| <P階> | エレベーター機械室等      | 81.00㎡    |
| 合 計  |                 | 3,305.57㎡ |









